

公益社団法人 日本地下水学会
2026年度 第3回 理事会議事録

1. 開催日時：2026年6月20日(土)13:30-16:40

2. 開催場所：京橋区民館3号室、Web会議

3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：13人

○：出席、×：欠席

理事	遠藤 崇浩	○*	理事	久保田 富次郎	○*
理事	阪田 義隆	○*	理事	杉田 文	○
理事	瀬尾 昭治	○	理事	高木 一成	○
理事	竹内 真司	○	理事	辻村 真貴	×
理事	中川 啓	○*	理事	西田 憲司	○
理事	増岡 健太郎	○	理事	宮越 昭暢	○*
理事	山中 勝	○*	理事	吉岡 真弓	○*
理事	吉田 広人	×			

*Webにて出席

5. 出席監事数：2人

○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	○	監事	五藤 幸晴	○*
----	-------	---	----	-------	----

*Webにて出席

6. 議長の氏名：会長 杉田 文

代表理事 杉田 文は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 会長伝達事項

- ・ 2026年度においては赤字の解消を目指したい旨が伝えられ、持続可能な運営のために各理事へ以下が依頼された。
 - ① 学会活動の根幹（講演会、会誌発行、若手支援）については活動を維持する。講演会、講習会、セミナー等については、参加費の改定などによる収入増を検討する。
 - ② 必須ではない支出については再度検討する。
 - ③ 費用対効果や利用率が低いものについては見送りも選択肢とする検討を行う。
 - ④ SMOOSYを最大限に活用する。
- ・ SMOOSYの概要資料（機能概要）の提供を事務局からアトラス社に依頼し、理事で共有することとした。
- ・ SMOOSYによるメール配信の課題として、
 - アトラス社が送信元となるために見過ごされている可能性
 - 送信先で迷惑メールに振り分けられている可能性
 が考えられた。上記への対処として、学会アドレスから会員への確認メールと、マイページへのログイン確認を実施する予定。
- ・ 講演会、講習会、セミナー等の参加費については、近年の社会情勢を加味した適正と思われる範囲での増額が必要との意見が出された。
- ・ SMOOSYに慣れていない会員に対して、個別に従来方法で対応すること（例：領収書の個別配送対応など）は原則行わず、同システムの利用が普及するように、SMOOSYによる操作方法を伝えることが必要との意見が出された。

8. 代表理事の活動状況

- ・ 2026年5月26日（火）台湾地下水資源・水文地質学会（TSGRH）とMOU締結式 出席

- ・ 2026年6月2日（火）公益社団法人日本地球惑星科学連合 第34回学協会長会議 出席（竹内副会長による代理出席）
 - JpGU-AGU Joint Meeting、PEPS(Progress in Earth and Planetary Science)、日本学術会議などの近況について報告がされた。
- ・ 2026年6月15日（月）地球・資源分野JABEE委員会 2026年度 第1回運営委員会 出席

9. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

10. 議事録作成者：理事 増岡 健太郎

11. 理事会資料

- ・ 資料 1 : 2026年度第3回理事会議事次第
- ・ 資料 2-1 : 2026年度第1回理事会議事録
- ・ 資料 2-2 : 2026年度第2回理事会議事録
- ・ 資料 2-3 : 学協会長会議_メモ
- ・ 資料 a (4種) : 審議資料
- ・ 資料 b (3種) : 協議資料
- ・ 資料 c (12種) : 報告資料

【審議事項】

第1号議案：入退会の承認（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-1)

- ・ 正会員1名、準会員1名についての入会が承認された。

第2号議案：休会規程の制定（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-2)

- ・ 休会規程（案）が示され、内容の説明が行われた。
- ・ 2027年度から休会が行えるように、原案の施行日を2026年10月1日に修正したものが承認された（制定日2026年6月20日）。
- ・ 事務局の負担軽減のためにも、休会者への復会の通知は行わないこととした（休会申請書に休会延長の申請がない場合には自動で復会となることを明記する）。

第3号議案：会員の不適切な行動への対応に関する内規の制定（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-3)

- ・ 会員の不適切な行動への対応に関する内規（案）が示され、内容の説明が行われた。
- ・ 原案に対して、施行日を2026年10月1日とし、一部の文章を修正したものが承認された（制定日2026年6月20日）。

第4号議案：施行細則の改定（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-4)

- ・ 前記の休会規程（案）と会員の不適切な行動への対応に関する内規（案）に関係する部分を追記し、改定日を2026年10月1日とした改定案が承認された。

【協議事項】

①若手優秀講演賞およびドリコ賞受賞者について（行事委員会：資料 b 協議_04(行)-1)

- ・ 春季講演会の若手優秀講演賞の受賞者が報告された。
- ・ 前記若手優秀講演賞の受賞者の中からドリコ賞の受賞候補者を表彰委員会で選考し、次回理事会で審議を行うことで進めることとした。
- ・ ドリコ賞の対象を博士課程にも拡大することについて意見交換が行われた。
- ・ 表彰委員会において、ドリコ賞の表彰状文面などを検討することとした。

②会費未納にともなう資格喪失処分について（会計委員会：資料 b 協議_11(会)）

- ・ 会費未納会員への催促を行う担当を決めた。
- ・ 長期末納の正会員については第5回理事会（10月17日）にて会員資格の喪失が審議される旨が伝えられた。

③出張旅費規程の改定検討について（総務委員会：資料b 協議_13(総)-1)

- ・出張旅費規程の宿泊費について総務委員会で議論した内容が紹介された。
- ・現状ではパック旅行の場合には宿泊費を区分することが出来ないため、宿泊費を支給する場合であっても規程上の上限額は適用されていない。
- ・パック旅行としない場合に、宿泊費が上限額より大きい、トータル費用としてパック旅行より安くなる場合がある。このような場合、パック旅行を選択すれば学会としての支出額が大きくなり、個別に宿泊費を精算すると理事に負担がかかってしまうとの意見が出された。
- ・適切な出張旅費の支給が行われない場合、委員会活動に支障をきたす可能性もあるとの意見が出された。
- ・当時の旅費規程を制定した理由や学会の財務状況を勘案して決めることが良いとの意見が出された。
- ・以上のような議論を行った結果、宿泊費が上限額を超過する場合には、上限額超過が問題ないと判断できる資料を準備して、出張旅費規程に従い、旅行命令権者（担当理事[理事会の場合は総務理事]）と出張者が別途協議のうえで支給額を決定することを確認した。

【報告事項】

無任所（IAH2029担当）：（資料なし）

- ・5月にIAH本部へ提案書を提出した。9月13日のカウンスルミーティングに参加予定。
- ・5月22日にIAHの若手ミーティングを実施。
- ・IGRAC（国際地下水資源評価センター）と地下水分野の有志が協力して活動するボランティア・ネットワークの募集に関する会員向けメール案内を事務局に依頼（対応中）。

企画委員会：（資料c報告_03(企)）

- ・セミナー、シンポジウム、講習会の準備状況についての報告がされた。
- ・現場技術講習会に関して、揚水試験法で検討中。開催時期は2026年秋以降。
- ・論文解説セミナーに関して、2026年冬以降に昨年度と同様の形式で開催を検討中。現在テーマを検討中。
- ・シンポジウムに関して、「有機フッ素化合物（PFAS）と地下水」のテーマでオンライン開催を予定。開催日は調整中。
- ・地下水シミュレーションに関する講習会を検討中。

行事委員会：（資料c報告_04(行)）

- ・2026年度春季講演会の開催報告が行われた。参加人数は141名、企業展示数は4社、懇親会参加者は83名。2025年秋季講演会の若手優秀講演賞受賞者6名を表彰した。受賞者には学会誌に掲載するコメントを依頼中。
- ・今後の講演会の準備状況の報告が行われた。2027年春季講演会に関して、例年のJpGU大会の参加状況や本学会の活動予定（委員会開催予定、代議員総会など）を考慮して、2027年5月29日（土）を第一候補日とすることとした。
- ・行事委員会の委員交代が報告された。

渉外委員会：（資料なし）

- ・報告事項なし。

編集委員会：（資料c報告_06(編)-1~2）

- ・第68巻2号（2026年5月号）の出版報告、第68巻3号（2026年8月号）の出版スケジュールが報告された。
- ・地下水学会誌の原稿処理状況が報告された。

調査・研究委員会：（資料なし）

- ・報告事項なし。

市民コミュニケーション委員会：（資料なし）

- ・報告事項なし。

広報・IT委員会：（資料c報告_09(広)-1）

- ・新規委員に対するGWSのアカウント設定方法が周知された。
- ・各委員会のGWSアカウント利用状況が示され、理事に確認が依頼された。
- ・学会公式ホームページに関する各委員会からの外注についての方法が示された。
- ・学会公式ホームページのトップページのリンクの効果的な活用方法について議論がされ、スクロールするリンクには、トピックスとして秋季講演会、TSGRHとのMOU締結式の様子を入れることとした。
- ・事務局PCの処理速度遅延への対応として、総務理事の承諾の下、HDDからSSDへの交換を行い、処理速度が改善したことが報告された。交換対応とすることで、新規購入する場合と比較して大幅な節約となった。

YEPS委員会：（資料なし）

- ・春季講演会において若手交流会を開催したことが報告された。参加人数は33名、アンケートは20名から回答を受領した。
- ・アンケートでは、多くの参加者が“刺激を受けた”という感想を持っていることが報告された。
- ・若手研究助成の対応として、現在ヒアリング審査を進めており、6月中に採択者が決定する見込みであることが報告された。
- ・昨年度助成者の報告書確認が7月頃に行われる予定であり、関係理事に対応の協力が依頼された。

会計委員会：（資料c報告_11(会)-1~2)

- ・帳簿確認を主な目的として、第1回・第2回会計委員会を開催していることが報告された。
- ・6月15日現在の会員数、会費納入状況、収入・支出状況が報告された。
- ・公益認定等委員会への資料提出対応、地下水学会誌への総会資料の入稿が報告された。

表彰委員会：（資料c報告_12(表)-1~2)

- ・「地下水学術賞」および「技術賞」の候補者の公募準備を進めていることが報告された。
- ・秋季講演会における表彰準備を進めることが報告された。

総務委員会：（資料c報告_13(総)-1~3)

- ・総務委員会の委員交代が報告された。
- ・事務局PCの処理速度遅延への対応が報告された（広報・IT委員会の報告と同）。
- ・他学協会開催行事の協賛2件を承認したことが報告された。
- ・入会者アンケートに関して、現在までに受領した回答に対する集計結果が報告された。入会後の自動配信メールに追記した形でのアンケート依頼のほかに、アンケート依頼のみの個別メール配信でアンケートの依頼を行うなど、引き続き回答率向上を目指してアンケート調査を実施していくことが報告された。
- ・2021年以降の準会員に対する退会率が報告された。
- ・学会誌の発行回数に関係して施行細則等の変更を検討していることが報告された。
- ・理事および監事の損害賠償責任、公益充実資金制度に関係して定款変更を検討していることが報告された。

【監事講評】

- ・収支改善のための検討を各理事に依頼することは良いことである。事業が縮小しない程度で進めていただきたい。
- ・講習会等の参加費を値上げする場合には、事後にアンケートを取るなどのフォローをしながら進めることが肝要と考える。
- ・SMOOSYの活用は進めてほしい。
- ・2029年が70周年記念となる。2027年度からの執行部では記念行事検討が必要である。IAH2029の開催と重なることからジョイントするか等の検討が必要である。
- ・事業計画書に記載した内容の実施を、各委員会は着実に実行すること。

【その他】

- ・各委員会での内規が理事に共有されていないと思われる。各委員長は次回理事会までに理事会サーバー上に設けた“内規”フォルダに格納する。その後、リストを作成する。

以上をもって議事を終了したので、議長は 16 時 40 分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2026 年 6 月 25 日

公益社団法人日本地下水学会 理事会